

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 1階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和3年9月28日	評価結果市町村受理日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaj.gokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2295300095-00&serviceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年10月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年度より、看取りでの対応のご利用者様も増え、そのたびに職員間で連携を行い絆も深まりました。中途採用の職員も増え、新しい風が入った事、リーダー体制が変更された事によりご利用者様や業務やケアに関して柔軟に話し合いが行われ、施設内の活性化やケアに対する考え方も従来の考え方にとられる事無く、業務を行っている様に感じています。以前はコロナだからと下を向いていましたが、現在ではコロナ渦でも出来る事を、全職員にて検討出来るようになってきています。現状を維持しながらも互いに向上し合える関係性を築けるような事業所作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「毎日お風呂に入りたい」「いつも散歩に出かけたい」「女性としての身だしなみを整えていたい」など、コロナ禍でもその人が生き活きと暮らせる鍵となるものを介護計画書に落とし込み、実施のチェックと評価が恒常化されています。紡ぎ出される穏やかな表情はブログへ掲載するとともに、職員手書きのお便りに添える写真として毎月家族のもとへ送付され、「普段の様子が見える」「安心できる」と多くの信頼の声が寄せられています。昨年度始まった中途採用研修がよりチームワークを高め、委員会や係からの提案には全員一致で「やってみよう」という姿勢が醸成され、開設18年を超えてなお成長し続ける事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示をし常に見れる状態にし、上期・下期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの評価を実施、個人面談等を通じて職員へ確認しております。	法人理念をもとに「コロナ禍でも楽しんでいただけるように」「ICT化」「事故の気づきを多く」といった事業所目標を立て、これに沿った個人目標は上期、下期と年2回の個人面談で進捗状況を見極めており、理念の実践を確実にする仕組みがあります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	20年の2月までは「歌声サロン」等の地域へ出向く活動を行っていたが、未だに新型コロナウイルスの感染が続いており地域との交流が行えていない状況にあります。	コロナ禍で活動は中止していますが、歌声サロン代表者への書面会議の報告に「他の会員にも見せませぬ」と嬉しい言葉があり、ファクスや葉書で都度感想をもらえていることから、事業所への関心の高さがうかがえます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高校生のボランティアや職員が認知症サポーターとなり毎年活動を行っていましたが、昨年度からはボランティアの受け入れやサポーターとしての活動出来ておりません。可能となったら受け入れや活動を再開致します。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設のご利用者様の状況報告や、現在は新型コロナウイルス感染症もあり書面での施設内勉強会の参加を行い、その資料をもとに参加者より意見も出やすくサービス向上に繋がっております。	書面開催としてメンバーに資料を郵送し、聴取した意見と回答は次号で伝えています。入居者概要、人事や活動報告等、写真も添えた詳細な内容から、日頃より真摯にケアサービスに取り組んでいることが伝わってきます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現在は新型コロナウイルス感染症もあり運営推進会議に、定期的な介護保険課の職員や地域包括支援センター職員の参加はありませんが、資料を作成し届けさせて頂いております。相談等がある際は、その都度電話や窓口へ相談に伺っております。	相談事には丁寧に応じてもらえ、2ヶ月ごとに書面開催としている運営推進会議の資料を窓口まで届けています。工夫のある感染症対策や、コロナ禍でも季節感ある企画に、「安心して楽しく生活できている」との評価を受けていることを議事録より確認しました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会にておおむね3か月に1回会議を実施、勉強会も定期的に開催しております。会議内で決定した事項は職員へ申し送り、議事録にて委員より報告し、議事録自体に会議資料の添付も行っております。	身体拘束適正化委員会では、センサーマット対応者の評価・検討や、施設内の現状について話し合い、研修ではミニテストやアンケートもおこなって自身を振り返っています。スピーチロックについてはクッション言葉や相手を待たせない工夫、委員会の内容が職員全員に周知されていること等)	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に盛り込み実施、入浴や更衣時等お客様の身体観察に努めており、アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載し早期発見に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者様ご家族のご都合に合わせて余裕のある時間で設定、説明を行い同意を頂いています。説明後質問の時間を設けてご家族からの意見を頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えております。又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員間で情報共有を行っております。	アンケートの結果と善後策は玄関に掲示され、介護計画にも取入れています。健康面の気づきや担当職員による手書きのコメントと、写真を添えたお便りを毎月郵送し、面会制限がある中でも「普段の様子がわかる」「安心できる」と多くの声があがっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。又、現在はコロナウイルス感染症もあり全体会議を書面にて行っている為その都度職員からの意見も聞いております。	「まるこ(こやまケア・ISO)」「身体拘束適正化」「感染対策」などの委員会と、「ブログ・おたより」「園芸」「レク」等得意分野を活かした係をどの職員も受け持ち、各方面から提示された意見には全員一致で「とりあえずやってみよう」という姿勢で臨むチームワークがあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個人目標を設定し、上期・下期で評価を実施し職員の意見を聞いております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムでの時間管理など働きやすい仕組み作りを行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しており、昨年度から法人研修はコロナウイルスの流行に伴いZoomを利用した研修を実施。月5回の中途採用者研修も昨年度より開始されております。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け確実に業務が行えるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会はZoomにて参加しておりますが、GH交流会はコロナウイルス感染症により行えてありませんので可能となったら再度参加させて頂きたいと思っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅や施設へ出向き、CMや相談員へケアの詳細や注意点を聞きしたり、お客様本人、ご家族と面談をし、生活状況の把握やご要望、不安な事等をお聞きし、安心して生活をして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、常にご意見を頂けるように初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いご本人、ご家族からの意見も頂いた上でその方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり、関係性が上手く行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。ご本人や周りの方との関係を常に気にかけて席や対応はその都度職員間で話し合いもしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間計画にお便り作成者を決め毎月発行、その月の企画やGHでの生活の様子を写真で伝え、1カ月間の体調の様子も文書に乗せてお客様担当者にて報告しております。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に面会者に制限があるかの確認を行い、可能な限り対応を行う様努めております。現在面会は原則中止とし、プラン説明や荷物等必要物品をご家族が持参される際、検温・チェックリスト記入後お互いマスクを付けた状態で各階の玄関先にて、様子を見て頂いております。	思うように面会や外出もできない中で、「毎日お風呂に入りたい」「いつも散歩に出かけていた」「女性として身だしなみを整えていた」など、入居前に本人や家族から聞き取った生活習慣が介護計画書にも位置付けられ、馴染みある暮らしが継続されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時やミニ企画などでお客様同士の話が盛り上がったりされています。又、現在はコロナウイルス感染症にて1・2階の交流が困難ではありますが可能となった際には再開させて頂きたいと思っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。今後そのような事例がある際は積極的に対応していきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や思いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。思いなどはボードの活用もしてリアルタイムで記録に残せるようにしております。	一緒にテレビを見たり、お茶を飲みながら交わす日常会話で、ふと耳にしたつぶやきをホワイトボードに控え、ミニ企画や誕生日企画に反映して思いを叶えています。意思表示が難しくなっても「～が好きだった」思いを汲み、その人らしい生活の支援をしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。申し送りなども活用し全員が把握出来るように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、生活記録の裏面にはチェックリストを添付して常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出ししております。お客様担当からは該当するお客様についてのケアプランの見直しについての意見も反映しております。	本人の言葉を引用し、スムーズな服薬方法から就寝時の安全対策まで、平穏な生活を送るために必要な配慮を具体的な言葉で設定しています。「生活記録」はサービス内容と照らし合わせて記載され、介護計画の履行は明白で達成度も評価しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルスの影響にて面会に来られないご家族に対し、ズームでのオンライン面会の対応を行っております。昨年度よりもズームでの面会も増えており、緊急時や急変時にご家族対応が難しい場合にはGHIにて柔軟に対応を行う様努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナウイルス感染症により参加は出来ておりませんが、地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポッポのお子さん達との交流、活動再開が可能となったら積極的に参加して参ります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も外来にて対応をさせていただきます。ご家族希望時随時先生からのお話も頂き、ご家族の希望も伝えさせて頂いております。	隣接する母体病院が協力医となり、月に一度の訪問診療の他、体調不良時にはいつでも訪問してもらえる体制にあります。診療にはその日の職員が立ち会い「訪問診療・受診記録」に書き留め、家族には毎月のお便りで知らせています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察、処置を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスを下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様との体制作りを行っており、不安要素の軽減を行い又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活をして頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者同席し、ケアマネージャーも可能な限り同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。職員へは全体会議が困難な為書面を通じてケアの検討を行っております。	終末期には夜勤者に急変時の対処や心構えを説明し、落ち着いた向き合えるよう計らっています。「褥瘡がきれいに治って良かった」「家族にも会ってもらえた」「エンゼルケアで心の整理ができた」と振り返り、心強い医療の下で職員一丸となってお見送りできた達成感があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や看取りについて、指導を行っております。急変の際のフローチャートはすぐに確認が出来るような位置に備えてあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練が出来ております。今年度は湖山リハビリテーション病院の防災危機管理室の方も交えて実施、異動者や中途採用者の参加、各職員が身につけられる様に勤務表にも組み込んでおります。	入職直後でも災害時に困らないよう、採用時のオリエンテーションで通報の手順や避難経路の確認をおこなう等、ミニ勉強会を開始していません。法人で事業継続計画も策定され、事業所での運用を進める段階となり、より実効性のある災害対策が推進されています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が出来るか職員間でお互いに気を付けております。同性介助を希望されるお客様への対応も職員間で協力をし対応しております。職員同士でも互いに声を掛け合い対応が適切かを常に気に掛けるようにしております。	「自分がされて嫌な事はしない」を基本にまるこ委員会、身体拘束適正化委員会が中心となり、日々のケアを省みて勉強会にも活かしていません。昨年度より中途採用職員研修が始まり、その人らしさを尊重する「こやまケア」の理解を深めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の想いや希望を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気でのコミュニケーションを取っております。希望が叶えられるようホワイトボードも活用してお客様からの意見を大切にしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事が出来るよう、職員もゆったりと関わりを持つように心掛け、お客様の声を聞き要望に出来る限り答えております。希望や要望は申し送り等で情報共有をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本人の希望にて職員が依頼をし、美容師さんが来訪して下さいます。又入居前の生活習慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも応えております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員のオリジナルメニュー、毎月のミニ企画として季節のおやつ等の提供もしております。又、お客様にテーブル拭き、お盆や食器拭き等を依頼し、出来る限り家事活動に携わって頂いております。	業者から食材が配達され、職員が調理しています。「わが家の台所」ではお弁当仕立てでピクニック気分を味わったり、栗ご飯やさつま芋で秋の味覚を楽しんだり、また誕生日には担当職員が本人から「食べたいもの」を聞き取り、手作りケーキを添えるなど食の楽しみが満載です。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行い、十分に摂取出来ない場合にはお客様に合わせた水分の提供、申し送りにて報告を行っております。お客様に対して適正な栄養バランスが取れる様食材会社の利用を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っております。ご自身で歯磨きが出来る方は職員が声掛けや見守り、一部介助では持てる力を生かし行って頂いております。十分に磨けていない方に対しては仕上げ磨きを職員が行っております。義歯の清潔にも常に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムや誘導時間の検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。	自宅でリハビリパンツだった人でも、様子を見て失敗がなければ布パンツへ移行したり、入院中オムツを余儀なくされていた人には、退院後、離床とともにタイミングを見計らってトイレでの排泄を試みるなど、その人にとって最も快適と思われる方法を選択しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、ハーフエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取が困難なお客様にはゼリー等での水分摂取のアップも行ってまいります。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み毎日2回の体操を日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードや生活記録に状況の記入し、翌日の職員へ申し送りを行っております。又、毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。	午後を入浴時間として週2回をめやすに入浴しています。湯は一人ひとり入れ替え、みかん湯、ゆず湯で季節を感じたり、意思の疎通が困難になった状況でも、お風呂好きだった意向を尊重して毎日入浴に誘う人もあり、清潔保持だけでなく満足感にも着目しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や就寝の対応を行っており、入眠時には楽な体制や居室内の照明、室温の調整にて気持ちよく眠れるように対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせて頂いております。訪問診療や他の病院受診時、記録にお薬の変更の欄を設け記入、申し送りにコピーを綴じ職員へ周知又個別薬ケースに錠剤数や薬の包数を記載し変更や追加時にもチェックできる仕組みを設けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。お客様からの楽しみも会話の中から聞き取れるよう努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	2月以降外出企画の実施は行っておりませんが、GHの畑や玄関先に園芸係の職員さんがお客様に少しでも気分転換になって頂けるように、季節のお花を植えてくれている為外に出る機会が増えており、お客様の笑顔も多く見られております。	コロナ禍で外出できない状況に「筋力低下を招くことが心配」との意見もあり、ラジオ体操やリハビリ体操を組み入れ、さらに介護計画書にも「階段の上り下り」「毎日の散歩」等、機能訓練となる個別メニューを盛り込んで実行しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。ズームでの面会を希望されたご家族への対応もその都度させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	男性職員に施設内の設備修繕を依頼、対応してくれます。毎年「ラッキーフォト」と称し企画時や日常の場面でのお客様の素敵な表情が分かる掲示物を作成、移動の際に足を止めて眺めている方もおられます。	プランターと花壇にはサフィニアやトレニアなどが咲き誇り、癒しの空間となっています。食卓に間仕切りを設置し、食後の床消毒、一日2回のコンタクトポイント消毒を欠かさず、こまめな手指消毒のために職員各自が消毒液と手袋入りポーチを携帯する等、感染対策に余念がありません。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチを置いてあり、気の合ったお客様同士でお話しや休憩をされている場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に使い慣れた物や、馴染みの物を持参して頂けるよう、ご家族へ依頼を行っております。お客様も馴染みの物がある事で思い出話をして下さったりと会話が弾む事もあります。	入居前に自宅を訪問し、持参できそうなものを話合っています。仏壇やソファ、テレビ、椅子とテーブル、家族の写真などが持ち込まれ、レイアウトを工夫して動線を確保したり、ベッド柵をL字に替えたりと危険回避の策も講じられています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めており、修理の必要な箇所は修繕担当が迅速に対応しております。又、お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 2階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和3年9月28日	評価結果市町村受理日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2295300095-00&serviceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年10月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年度より、看取りでの対応のご利用者様も増え、そのたびに職員間で連携を行い絆も深まりました。中途採用の職員も増え、新しい風が入った事、リーダー体制が変更された事によりご利用者様や業務やケアに関して柔軟に話し合いが行われ、施設内の活性化やケアに対する考え方も従来の考え方にとられる事無く、業務を行っている様に感じています。以前はコロナだからと下を向いていましたが、現在ではコロナ渦でも出来る事を、全職員にて検討出来るようになってきています。現状を維持しながらも互いに向上し合える関係性を築けるような事業所作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「毎日お風呂に入りたい」「いつも散歩に出かけたい」「女性としての身だしなみを整えていたい」など、コロナ禍でもその人が生き活きと暮らせる鍵となるものを介護計画書に落とし込み、実施のチェックと評価が恒常化されています。紡ぎ出される穏やかな表情はブログへ掲載するとともに、職員手書きのお便りに添える写真として毎月家族のもとへ送付され、「普段の様子が見える」「安心できる」と多くの信頼の聲が寄せられています。昨年度始まった中途採用研修がよりチームワークを高め、委員会や係からの提案には全員一致で「やってみよう」という姿勢が醸成され、開設18年を超えてなお成長し続ける事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示をし常に見れる状態にし、上期・下期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの評価を実施、個人面談等を通じて職員へ確認しております。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	20年の2月までは「歌声サロン」等の地域へ出向く活動を行っていたが、未だに新型コロナウイルスの感染が続いており地域との交流が行えていない状況にあります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高校生のボランティアや職員が認知症サポーターとなり毎年活動を行っていましたが、昨年度からはボランティアの受け入れやサポーターとしての活動出来ておりません。可能となったら受け入れや活動を再開致します。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設のご利用者様の状況報告や、現在は新型コロナウイルス感染症もあり書面での施設内勉強会の参加を行い、その資料をもとに参加者より意見も出やすくサービス向上に繋がっております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現在は新型コロナウイルス感染症もあり運営推進会議に、定期的な介護保険課の職員や地域包括支援センター職員の参加はありませんが、資料を作成し届けさせて頂いております。相談等がある際は、その都度電話や窓口へ相談に伺っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会にておおむね3か月に1回会議を実施、勉強会も定期的開催しております。会議内で決定した事項は職員へ申し送り、議事録にて委員より報告し、議事録自体に会議資料の添付も行ってしております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に盛り込み実施、入浴や更衣時等お客様の身体観察に努めており、アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載し早期発見に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者様ご家族のご都合に合わせて余裕のある時間で設定、説明を行い同意を頂いています。説明後質問の時間を設けてご家族からの意見を頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えております。又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員間で情報共有を行っております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。又、現在はコロナウイルス感染症もあり全体会議を書面にて行っている為その都度職員からの意見も聞いております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個人目標を設定し、上期・下期で評価を実施し職員の意見を聞いております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムでの時間管理など働きやすい仕組み作りを行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しており、昨年度から法人研修はコロナウイルスの流行に伴いズームを利用した研修を実施。月5回の中途採用者研修も昨年度より開始されております。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け確実に業務が行えるよう努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会はズームにて参加しておりますが、GH交流会はコロナウイルス感染症により行えてありませんので可能となったら再度参加させて頂きたいと思っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅や施設へ出向き、CMや相談員へケアの詳細や注意点を聞きしたり、お客様本人、ご家族と面談をし、生活状況の把握やご要望、不安な事等をお聞きし、安心して生活をして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、常にご意見を頂けるように初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いご本人、ご家族からの意見も頂いた上でその方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり、関係性が上手く行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。ご本人や周りの方との関係を常に気かけ席や対応はその都度職員間で話し合いもしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間計画にお便り作成者を決め毎月発行、その月の企画やGHでの生活の様子を写真で伝え、1カ月間の体調の様子も文書に乗せてお客様担当者にて報告しております。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に面会者に制限があるかの確認を行い、可能な限り対応を行う様努めております。現在面会は原則中止とし、プラン説明や荷物等必要物品をご家族が持参される際、検温・チェックリスト記入後お互いマスクを付けた状態で各階の玄関先にて、様子を見て頂いております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時やミニ企画などでお客様同士の話が盛り上がりつつあります。又、現在はコロナウイルス感染症にて1・2階の交流が困難ではありますが可能となった際には再開させて頂きたいと思っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。今後そのような事例がある際は積極的に対応していきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や思いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。思いなどはボードの活用もしてリアルタイムで記録に残せるようにしております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。申し送りなども活用し全員が把握出来るように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、生活記録の裏面にはチェックリストを添付して常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出してまいります。お客様担当からは該当するお客様についてのケアプランの見直しについての意見も反映しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルスの影響にて面会に来られないご家族に対し、ズームでのオンライン面会の対応を行っております。昨年度よりもズームでの面会も増えており、緊急時や急変時にご家族対応が難しい場合にはGHIにて柔軟に対応を行う様努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在はコロナウイルス感染症により参加は出来ておりませんが、地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポッポのお子さん達との交流、活動再開が可能となったら積極的に参加して参ります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も外来にて対応をさせていただきます。ご家族希望時随時先生からのお話もして頂き、ご家族の希望も伝えさせて頂いております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察、処置を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスを下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様との体制作りを行っており、不安要素の軽減を行い又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活して頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者同席し、ケアマネージャーも可能な限り同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。職員へは全体会議が困難な為書面を通じてケアの検討を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や看取りについて、指導を行っております。急変の際のフローチャートはすぐに確認が出来るような位置に備えてあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練が出来ております。今年度は湖山リハビリテーション病院の防災危機管理室の方も交えて実施、異動者や中途採用者の参加、各職員が身につけられる様に勤務表にも組み込んでおります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が出来るか職員間でお互いに気を付けております。同性介助を希望されるお客様への対応も職員間で協力を行い対応しております。職員同士でも互いに声を掛け合い対応が適切かを常に気に掛けるようにしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の想いや希望を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気でのコミュニケーションを取っております。希望が叶えられるようホワイトボードも活用してお客様からの意見を大切にしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事が出来るよう、職員もゆったりと関わりを持つように心掛け、お客様の声を聴き要望に出来る限り答えております。希望や要望は申し送り等で情報共有をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本人の希望にて職員が依頼をし、美容師さんが来訪して下さいます。又入居前の生活習慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも応えております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員のオリジナルメニュー、毎月のミニ企画として季節のおやつ等の提供もしております。又、お客様にテーブル拭き、お盆や食器拭き等を依頼し、出来る限り家事活動に携わって頂いております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行い、十分に摂取出来ていない場合にはお客様に合わせた水分の提供、申し送りにて報告を行っております。お客様に対して適正な栄養バランスが取れる様食材会社の利用を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っております。ご自身で歯磨きが出来る方は職員が声掛けや見守り、一部介助では持てる力を生かし行って頂いております。十分に磨けていない方に対しては仕上げ磨きを職員が行っております。義歯の清潔にも常に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムや誘導時間の検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、ハブエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取が困難なお客様にはゼリー等での水分摂取のアップも行ってまいります。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み毎日2回の体操を日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードや生活記録に状況の記入し、翌日の職員へ申し送りを行っております。又、毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や就寝の対応を行っており、入眠時には楽な体制や居室内の照明、室温の調整にて気持ちよく眠れるように対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせて頂いております。訪問診療や他の病院受診時、記録にお薬の変更の欄を設け記入、申し送りにコピーを綴じ職員へ周知又個別薬ケースに錠剤数や薬の包数を記載し変更や追加時にもチェックできる仕組みを設けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。お客様からの楽しみも会話の中から聞き取れるよう努めております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	2月以降外出企画の実施は行っておりませんが、GHの畑や玄関先に園芸係の職員さんがお客様に少しでも気分転換になって頂けるようにと、季節のお花を植えてくれている為外に出る機会が増えており、お客様の笑顔も多く見られております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。ズームでの面会を希望されたご家族への対応もその都度させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	男性職員に施設内の設備修繕を依頼、対応してくれます。毎年「ラッキーフォト」と称し企画時や日常の場面でのお客様の素敵な表情が分かる掲示物を作成、移動の際に足を止めて眺めている方もおられます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチを置いてあり、気の合ったお客様同士でお話しや休憩をされている場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に使い慣れた物や、馴染みの物を持参して頂けるよう、ご家族へ依頼を行っております。お客様も馴染みの物がある事で思い出話をして下さったりと会話が弾む事もあります。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めており、修理の必要な箇所は修繕担当が迅速に対応しております。又、お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		